

教育部目標

【概要】

教育部は、教育総務課・学校教育課・生涯学習課・公民館の4課で構成し、教育委員会の事務局、学校教育の推進、学校給食の充実、生涯学習・社会教育の振興、文化財の保存・活用、社会体育の振興に関する施策に取り組んでいます。

教育部の目標（令和7年度）	教育部長
【基本方向】 人と人が温かくつながり生涯にわたり学び健康で活躍できるまちをつくるため、教育環境を整備するほか、地域と連携し、ふるさとに愛着を持つ子どもの育成を図ります。 また、市民一人一人が健康で自由に学び続けることができる社会の実現を目指し、多様な機会及び情報の提供を図ります。	
【達成すべき目標】 1 佐貫小・大貫小及び環小・天羽小の再配置 それぞれの再配置個別計画部会の開催や関係法令の整備、校歌・校章の決定、備品の調達及び適正な処分など、再配置後の学校が円滑に運営されるよう調整を図り、再配置の準備を進めます。 2 市民のふるさと富津市に対する愛着と誇りの醸成 市内の歴史文化・産業・観光などさまざまな分野のフィールドワークを中心としたふつつ学講座を実施します。 また、ふつつ検定の市内小中学生の受検機会を拡充するため、希望する学校向けに出張検定を実施します。 3 文化財保存・活用に向けた市民の理解の促進 鋸山や市内文化財が教育旅行・校外学習先として選ばれるよう周遊ルートの開発や古墳群関連の講演会の開催、出前講座の実施、スポーツイベントと連携してPRするなど、魅力発信に努めます。	【目標の達成度】 1 佐貫小・大貫小及び環小・天羽小の再配置 両校に再配置個別計画部会を組織し、校歌・校章の作成、PTAや学校運営等に関する調整を行うとともに、関係法令の整備、備品の調達及び適正な処分を行うなど、再配置後の学校が円滑に運営されるよう準備を実施しました。 2 市民のふるさと富津市に対する愛着と誇りの醸成 地域の魅力を深く知ってもらうため、さまざまな分野でフィールドワークを中心としたふつつ学講座を実施し、参加者アンケートでは満足度90%以上を達成しました。 また、ふつつ検定では希望する学校で出張検定を実施し、264人の受検があり、受検者のうち市のことが好きになった人の割合は、90%以上となりました。 3 文化財保存・活用に向けた市民の理解の促進 鋸山の校外学習向け、推奨ルートと解説動画を製作し、これらを掲載したチラシを県内外の教育委員会へ配布しました。 また、11月に内裏塚古墳群の史跡追加指定記念講演会を開催したほか、スポー

<p>4 大佐和中学校屋内運動場改築事業の実施 令和8年1月の完成を目指し、施工業者や学校と調整を図り、工事の進捗管理に努めます。</p>	<p>ツ推進委員主催の市民ハイキングで内裏塚古墳群を周遊するなど、多くの人へ古墳群の魅力を解説しました。</p> <p>4 大佐和中学校屋内運動場改築事業の実施 令和8年1月に完成し、2月から供用を開始しました。</p> <p>延べ面積 1,330.78㎡</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建て</p> <p>主 要 室 アリーナ、ステージ、器具庫兼倉庫、備蓄倉庫、男女別トイレ、多目的トイレ、男女別更衣室</p>
---	--

教育総務課目標

【概要】

教育総務課は、庶務係・施設係の2係6名で構成し、教育委員会会議、教育行政の施策総括、育英資金の貸与、教育財産の管理、学校施設の整備に取り組んでいます。

教育総務課の目標（令和7年度）	教育総務課長
【基本方向】 教育委員会を適正に運営するとともに、学校を安全で快適な教育環境に整備し、適正に維持管理します。	
【達成すべき目標】 1 富津中学校グラウンド排水不良改修事業の推進 降雨後長期間使用不能となる富津中学校グラウンドの排水調査等を行い、排水不良等を解消するための設計に着手します。 2 大佐和中学校屋内運動場改築事業の実施 令和8年1月の完成を目指し、施工業者や学校と調整を図り、工事の進捗管理に努めます。 3 青堀小学校校舎改築事業の推進 令和7年3月に完了した基本設計に基づき、造成・外構設計、校舎等実施設計、開発許可手続きに着手します。 4 学校再配置に係る備品再利用の推進と適正な処分の実施 令和8年4月に再配置を予定している佐貫小学校、環小学校で使用している備	【目標の達成度】 1 富津中学校グラウンド排水不良改修事業の推進 排水調査を実施後、整備手法を検討し、改修設計が完了しました。 2 大佐和中学校屋内運動場改築事業の実施 令和8年1月に完成し、2月から供用を開始しました。 延べ面積 1,330.78㎡ 構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建て 主 要 室 アリーナ、ステージ、器具庫兼倉庫、備蓄倉庫、男女別トイレ、多目的トイレ、男女別更衣室 3 青堀小学校校舎改築事業の推進 造成・外構・開発許可手続きを含めた校舎等の実施設計に着手しました。引き続き、令和9年度の着工に向けて事業の推進に努めます。 4 学校再配置に係る備品再利用の推進と適正な処分の実施 再配置先の学校に引継ぐ備品を選定し、移管しました。

品について、他校での再利用など最大限有効活用するものとし、使用できないもの、不要なものについても、単に保管して将来的な負担とならないよう、売却、譲渡、廃棄等、性質に応じて様々な処分方法を検討します。

不要なものについても適正に処分したほか、グランドピアノなど一部は売却しました。今後、他の学校が活用するため処分を保留している備品等についても、早期に移管、処分を実施します。

学校教育課目標

【概要】

学校教育課は、学務係・給食係・共同調理場・教育センターの4係16名で構成しています。教職員の服務監督、児童生徒の健康安全に係わる事業や就学支援事業の展開、安全安心な給食の企画・運営等に取り組んでいます。

また、教育の実践指導、教育関係職員の研修、教育資料の収集及び作成、教育相談など教育振興上必要な事項に取り組んでいます。

学校教育課の目標（令和7年度）	学校教育課長
【基本方向】 子どもたちの生きる力と健やかな精神を育むため、健康安全に係る事業や就学支援事業を推進します。安全安心な給食事業に向け、給食費の徴収・管理業務の推進、食物アレルギー対応を拡充します。児童生徒の充実した教育活動のため、適切な規模による学校の再配置を推進します。教職員の高い倫理観を継続させ、働き方改革を推進します。	
【達成すべき目標】 1 学校再配置に係る総合調整 令和8年4月に再配置を予定している佐貫小学校・大貫小学校、環小学校・天羽小学校、それぞれにおいて代表部会・PTA等部会、学校教職員部会を組織し、また、関係部署と連携を図り、学校再配置に向けた準備を進めます。 2 安心安全な学校給食事業の推進 学校給食の安定的な運営を行うとともに、アレルギー対応除去食提供を開始します。また、地産地消の取組を継続するとともに、旧調理場解体事業の実施や、滞納整理等事務処理要綱に基づく給食費の徴収を推進します。 3 長期欠席・不登校対策の推進 長期欠席・不登校の未然防止、つながりを確保し学びを止めない対策を推進します。 また、市の支援体制、相談体制についてわかりやすい情報発信に努め、学校と	【目標の達成度】 1 学校再配置に係る総合調整 両校に再配置個別計画部会を組織し、関係部署と連携を図りながら学校再配置の準備を進めました。佐貫小学校と大貫小学校は大佐和小学校として、環小学校と天羽小学校は天羽小学校として、令和8年4月から新たにスタートしました。 2 安心安全な学校給食事業の推進 4月1日から開場した新共同調理場により、安定的な運営を行い、地産地消の取組の継続、アレルギー対応除去食の提供も開始しました。 旧調理場の解体については、大貫・天羽共同調理場及び青堀小調理場の解体工事を工期内に完了しました。 滞納給食費については、滞納が解消されない事案において法的措置に着手するなど、徴収の推進に努めています。 3 長期欠席・不登校対策の推進 主に校内の支援として自立支援指導員の配置、校外の支援としては教育支援センター「さわやか教室(中央公民館)」に相談員を配置し、支援に努めました。 また、「子育て支援連携ミーティン

外部機関、家庭の連携強化を図ります。

4 部活動地域移行・地域連携に係る検討

部活動地域移行協議会において、今後の方向性を協議するとともに、部活動指導員（有償）や外部指導者（無償）を効果的に活用し、部活動に対する地域の連携を深めていきます。

また、進捗状況を学校、保護者、地域等に説明する機会を増やすなど、理解を得られるよう周知に努めます。

グ」などを通じ、こども家庭課などと連携しながら、学校、外部機関、家庭の連携強化に努めており、長欠児童生徒のうち、学校以外の相談機関が無い者の割合は44.4%(前年比10.5%減)となりました。

4 部活動地域展開・地域連携に係る検討

年3回の部活動地域展開協議会を開催し、今後の方向性について協議を進めました。

各校に1名配置した部活動指導員を効果的に活用するとともに、部活動外部指導者を15名に委嘱し、各部活動の指導補助にあたりました。

周知については、広報ふつつ、市PTA連絡協議会役員や各校職員のほか、保護者に対しても文書により進捗状況を周知しました。

生涯学習課 目標

【概要】

生涯学習課は、社会教育係・文化係・スポーツ振興係の3係10名で構成し、生涯学習・社会教育の振興、図書施設の運営、青少年健全育成、生涯学習バスの運行、文化財の調査・保護・活用、体育施設の管理・運営、社会体育関係団体の支援、スポーツ・レクリエーションの推進に取り組んでいます。

生涯学習課の目標（令和7年度）	生涯学習課長
【基本方向】 <p>市民一人ひとりが生涯にわたって学ぶことができ、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現を目指し、学習機会の拡充に努め、地域、学校、各種団体等と連携して事業を実施します。また、スポーツを楽しむ環境づくりを推進し、体力の維持向上・健康増進を図ります。</p>	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">1 学ぶ場・活かす場の充実<p>市民の学習活動の拠点となる図書館の更なる利用促進を図るため、蔵書拡充による環境整備を図るとともに、読書への興味・関心を高める様々な企画の実施に取り組めます。また、家庭教育指導員・支援員及び社会教育指導員を中心に家庭教育支援・地域学校協働活動を推進します。</p>2 文化財保存・活用のための整備<p>鋸山の日本遺産認定に向け、鋸南町と共同で設置した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会で、地域活性化に向けた事業を促進し、令和8年3月に日本遺産認定を申請します。</p><p>また、内裏塚古墳群について、国史跡化を図り、内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会を立ち上げ、古墳群の保存・整備方針を検討していきます。</p>3 体育施設の維持管理及び利用促進<p>体育施設の利用の促進を図るため、指定管理者と連携し、市民が安全・快適に利用できるよう整備の優先順位や手法を検討します。</p>	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">1 学ぶ場・活かす場の充実<p>市立図書館は蔵書の拡充(令和7年度末約9万2千冊)のほか、指定管理者と連携し、定期的なイベント開催や館内展示(特別及び常設)に取り組むなど、読書への興味・関心を高める企画を実施しました。</p><p>また、家庭教育指導員・支援員及び社会教育指導員を中心に家庭教育支援・地域学校協働活動を推進しました。</p>2 文化財保存・活用のための整備<p>地域事業者が主体となる新たな事業展開や、ストーリー、地域活性化計画の見直しを図り、令和8年3月に日本遺産の認定を申請しました。</p><p>また、令和7年9月に内裏塚古墳群が国指定史跡となったことから、有識者等を委員とした富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会を立ち上げ、今後の方針等の検討を開始しました。</p>3 体育施設の維持管理及び利用促進<p>令和8年度に総合社会体育館サブアリーナの劣化した暗幕交換、令和9年度にサブアリーナLED照明改修の実施を決定したほか、旧佐貫中学校の使用禁止に伴い、総合型地域スポーツクラブの活動を支援するため、減免規定を見直し、対象としました。</p>

公民館 目標

【概要】

公民館は、中央公民館係・富津公民館係・市民会館係の3係6名で構成し、公民館・市民会館の管理運営・社会教育事業に取り組んでいます。

公民館の目標（令和7年度）	公民館長
【基本方向】 公民館は、地域住民の教育・コミュニティ活動の拠点の場として、市民が生涯を通じて楽しく学ぶことのできる充実した環境を提供します。	
【達成すべき目標】 1 ふつつ学講座の実施 ふるさとの自然や歴史、文化、観光などさまざまな分野の情報収集、内容を整理し、実施計画を作成します。 また、各分野における地域の魅力をより深く知ってもらうため、フィールドワークを中心とした連続した講座を実施します。 2 地域学校協働活動の推進 地域と学校が相互に連携・協働して行う活動を推進するため、学校訪問や会議同席などを通じ、学校が地域に求めるニーズを調査します。 調査内容の情報共有(庁内)及び課題整理を行い、学校と地域資源・人材を結ぶための支援を行います。 3 ふつつ検定の実施 受検者が検定を通じ、市に誇りと愛着の醸成につながる内容とするため、ふつつ学講座の内容や他部局と連携し、市の自然や歴史、文化、観光などさまざまな分野から問題を出題します。 また、市内小中学生の受検機会を拡充するため、希望する学校向けに出張検定を実施します。	【目標の達成度】 1 ふつつ学講座の実施 さまざまな分野の情報収集、内容整理により実施計画を作成しました。 計画に基づき、地域の魅力を深く知ってもらうため、フィールドワークを中心とした全7回の講座を実施しました。 参加者アンケートでは満足度90%以上を達成しました。 2 地域学校協働活動の推進 学校訪問や会議への同席を通じて学校が地域に求めるニーズを調査しました。 調査結果を共有、課題整理を行い、学校と地域資源、人材を結ぶための取組として、12月9日及び12日に書初め指導の講師3人を派遣しました。 また、様々な分野の地域資源・人材などの情報共有を行い、地域と学校間の協働活動推進を図りました。 3 ふつつ検定の実施 ふつつ学講座の内容や他部局との連携により、検定問題を地域の魅力を反映した内容としました。 また、市内小中学校においては、希望する学校で出張検定を実施し、受検機会を拡充しました。 この取組により受験者数は、第2回ふつつ検定が80人、出張検定が264人となり、受検者のうち市のことが好きになっ

<p>4 学級・講座の充実 前年度の参加者アンケート結果や世相を反映し、事業内容を充実させます。 また、次年度に向け来館者等にアンケートを実施し、地域の学習ニーズを把握します。</p> <p>5 富津市民文化祭の開催 出展・出演者申込及びメインテーマのインターネット申込みなど多くの方が参加しやすい環境の整備を引き続き実施します。 また、参観者に開催内容を分かりやすく周知するため、全会場共通パンフレットを作成し利便性の向上を図ります。 多くの市民等が相互の交流することで文化の普及・向上につなげます。（令和6年度の出展、出演者数を上回る1,900人以上を目標とします。）</p> <p>6 二十歳の集いの開催 新たに20歳になる方々から実行委員を選出し、実行委員会を組織します。自ら作る式典に向けての企画運営をサポートします。</p>	<p>た人の割合は、90%以上となりました。</p> <p>4 学級・講座の充実 参加者アンケートや世相を反映し、事業内容の充実を図り、事業の満足度 90%以上を達成しました。 また、次年度に向けて来館者等にアンケート（回答 320 件）を実施し、より地域の学習ニーズを反映させた学級・講座の企画調整に取り組みました。</p> <p>5 富津市民文化祭の開催 10月24日から26日に各公民館、市民会館などの5会場で各種催しを開催しました。 出展・出演者等のインターネット申込や全会場共通パンフレットの作成により、誰もが参加、参観しやすい環境を整備しました。 雨天により屋外の催しが中止となったことなどから、出演・出展者数は1,702人となりました。</p> <p>6 二十歳の集いの開催 新たに20歳になる方々による実行委員会を中心とし、令和8年1月11日に富津公民館ホールにて、厳粛な中にも温かみの溢れる式典を開催しました。 なお、対象者353人のうち、出席者数253人、出席率は71.7%でした。</p>
---	---